

朝鮮における社会主義建設

マドリード・チュチェ思想研究会会員
ロレンツォ・ラミレス

フォイエルバッハとマルクス、エンゲルスのような現代唯物論の著者たちとヘーゲルのような同時代の弁証法的哲学者たちの図書を読んでみた人はそれらを結合すれば、マルクスとエンゲルスの弁証法的唯物論が得られることを知ることができます。

これを歴史に適用すれば、歴史的唯物論が得られます。この適用は人間に恒久的で生まれつきの基本対立、つまり階級闘争が存在するようになるという事実を裏付けます。

スペインやアメリカの影響力のもとにある任意の資本主義諸国で主な矛盾は資本と労働力間の矛盾です。しかし、朝鮮のような社会主義諸国ではその矛盾が克服されました。

その矛盾を克服するための方途は民族の数ほど多いです。その中の一つがチュチェ思想と知られている朝鮮の方法です。

チュチェ思想には革命と建設で堅持すべき三つの原則、つまり自主的立場を堅持する原則、創造的方法を具現するための原則、思想を基本にとらえていくための原則があります。

この三つの原則は金日成主席が創始し、後に金正日総書記が著作「チュチェ思想について」で明らかにしました。

上の原則が単に哲学的なものに見えるかも知れませんが、そうではありません。

なぜならば、政治によってもっとも重要な必然的結果が出るからです。

実例を挙げるならば、自主的立場を堅持すべきであるという原則は政治における自主、経済における自立、国防における自衛を実現できるようにします。

造的方法を具現するための原則はチョンリマ運動や各種の多くの運動のような、大衆運動を創造する根源となりました。最後に重要な原則である思想を基本にとらえていく原則は、すべての問題を人民大衆の意識性を高く発揮させて解決するようにします。

1945年10月14日、金日成主席は朝鮮を日本帝国主義者から解放し、平壤に来て平壤歓迎市民大会に参加しました。それから数ヶ月後に起こる事は北東アジアの歴史上非常に重要な意義を持ちました。

朝鮮では1946年2月8日、北朝鮮臨時人民委員会が組織され、それを武器にして民主改革を遂行する道に入りました。

何よりもまず、土地改革が行われました。地主と親日分子から土地を奪い、それを朝鮮の農民に分与しましたが、1946年にすべての農家の4%を占める地主は総耕地面積の58.2%の耕作地を所有していました。土地改革に関する措置は北朝鮮共産党（朝鮮労働党の前身党の一つ）中央組織委員会第5回拡大執行委員会で講じられ、同年3月5日「土地

改革法令」として発布されました。72万4522戸に132万5千haの土地が分与されました。

次のような改革も行われました。1946年6月24日に「北朝鮮の労働者、事務員に対する労働法令」が発布され、同年7月30日に「北朝鮮男女平等権に関する法令」が発布されました。また、産業、交通運輸、通信、銀行を国有化しました。この法令は1946年8月10日に採択されました。また11月にあった北朝鮮臨時人民委員会第3回拡大委員会で建国思想総動員運動を力強くくり広げるための具体的な対策を討議、決定し、識字運動が大衆あげての運動として行われました。

一方、アメリカは朝鮮半島の南半部に入って傀儡国家をでっちあげるための基盤を築きました。アメリカは侵略国家として自分が操縦できる傀儡政府をつくるために南朝鮮で朝鮮人民が組織したすべての組織を解散しました。

1946年9月、北朝鮮労働党中央委員会第2回会議では11月3日に北朝鮮全域で道、市、郡人民委員会委員選挙を一齐に実施することを決定し、選挙に関する規定を採択しました。

1948年4月には南北朝鮮政党・社会団体代表者連席会議が平壤で行われました。

56の政党、社会団体の代表695名が参加しました。彼らは1000余万の党員と同盟員を代表していました。

すべての政治代表者が招待を受けましたが、リ・スンマンとキム・ソンスの党員は参加しませんでした。

これは一つだけを意味しましたが、リ・スンマンとキム・ソンスがアメリカの傀儡として、民族の団結を望まなかったということです。

戦争と停戦後、朝鮮における社会主義建設は続きました。多くの都市がアメリカ帝国主義の空爆で廃墟と化しました。今の平壤は40年代の平壤とは全く異なります。今日には3、4棟の建物だけが昔の姿として平壤に残っています。

歳月は流れ、朝鮮労働党中央委員会1956年12月総会を契機に朝鮮ではチョンリマ運動が起こりました。この運動の最初の烽火は降仙製鋼所の労働者階級が上げました。すべての部門でチョンリマを駆ける勢いで走って1957年に5ヵ年計画の初年の課題を成功裏に遂行し、それはその後の計画遂行の土台となりました。

この運動の呼称である「チョンリマ（千里馬）」はわれわれの「千馬」のような翼のある馬のことをいいます。「チョンリマ」という名前は三つの単語「千」「里」「馬」になっています。「千」と「里」は「千里」を意味し、「馬」は朝鮮語で馬を意味します。

「里」は400mまたは0.4kmの朝鮮の伝統的な距離測定単位です。朝鮮の神話でこの馬は一日に千里または400kmを飛ぶことができました。

その後、思想、技術、文化の3大革命が遂行され、1972年12月27日、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第5期第1回会議での憲法の採択によって完全な社会主義体制について宣言できるようになりました。